

# 1人1台端末時代に求められる メディア・リテラシー

「安全・安心な利活用」という観点から

中橋 雄（日本大学 教授）

# 1人1台端末とメディア・リテラシー

- 1人1台端末の整備により、子どもたちは今まで以上に、**ネット上の情報**に触れる機会が増加する
- 学習指導要領で求められている学びを実現させるためには、「**疑問をもち調べる**」「**考えたことを人に伝える**」学習活動が不可欠

調べる・伝える活動を行う上で、  
**メディア・リテラシー**を育成することが必要

# 情報モラルとメディア・リテラシー

安全・安心といえは**情報モラル**という概念がある。メディア・リテラシーを育む教育は、以下のような内容を扱う情報モラル教育とは異なるものと捉え、教育を充実させる必要がある。

- 1 情報の発信と受容する際の判断に関する問題**  
(デマ, うわさ, 詐欺, 誤報, ワンクリック詐欺)
- 2 コミュニケーショントラブルの問題**  
(メール・掲示板・チャットでの誹謗中傷・ネットいじめ)
- 3 知的財産権の侵害に関する問題**  
(著作権侵害)
- 4 情報資産を脅かす脅威とセキュリティ対策に関する問題**  
(ウイルス・ワーム, 不正アクセス, 改ざん, 個人情報流出, サーバー攻撃, カード番号・パスワードの盗聴)
- 5 電子商取引でのトラブルに関する問題**  
(詐欺, なりすまし)
- 6 トラフィックに関する問題**  
(チェーンメール)
- 7 有害情報の公開と受容に関する問題**  
(爆発物の製造方法, ポルノ, 自殺マニュアル, 死体, ドラッグ販売, プライバシー侵害)
- 8 ネット中毒に関する問題**  
(引きこもり, 依存症)
- 9 出会い系サイトに関わる犯罪の問題**  
(売春, 誘拐, 拉致・監禁)

# メディア・リテラシーとは

メディアの**意味と特性を理解**した上で、

受け手として情報を**読み解き**、

送り手として情報を**表現・発信**するとともに、

メディアの**あり方を考え**、**行動**していくこと

ができる能力

# 学校におけるICTを活用した実践場面

## A 一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を利用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。

### A1 教師による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

## B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進捗で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。

### B1 個に応じた学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

### B2 調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

### B3 思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

### B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

### B5 家庭学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習

## C 協働学習

タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。

### C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

### C2 協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

### C3 協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

### C4 学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

# 具体的に安心・安全について考える

1人1台情報端末を使い学ぶ際、  
どのような**危険性**があるのか？

どのようなメディア・リテラシー  
を育む教育・学習が必要か？

いくつかの例をもとに考えます。

# ○検索サイト

**上位にある検索結果ほど価値がある・信頼できると、勝手に解釈してしまう危険性、それを伝えてしまう危険性**

**→検索エンジンの特性を知ること、ランキングに依存している自分に疑いをもつべきであることを学ぶ必要がある。**



# ○SNS

**自分が見ているのは、閲覧履歴によってカスタマイズされた情報かもしれないのに、自分で選んで見ていると、勝手に解釈してしまう危険性、それを伝えてしまう危険性**

**→自分が（誰もが）、コンピュータのアルゴリズムによってパーソナライズされた情報に囲まれる「フィルターバブル」に包まれていることを学ぶ必要がある。**



# ○ニュースサイト

**単純化された調査結果や専門家の考えを都合よく勝手に解釈してしまう危険性、それを伝えてしまう危険性**

→メディアは、わかりやすくするために単純化される。送り手の意図によって構成されていることを踏まえて解釈する必要があることを学ぶ必要がある。

# 例えば

情報端末でニュースを読んでいると、**国際的な学カテストの結果**について書かれた記事があったとします。

記事には、「**日本の子どもたちは読解力の得点が低く、前回より順位がさがった**」と書かれています。また、「**スマートフォンが普及し、短文のやり取りが増えたことや、本を読む時間が減ったためではないか**」という専門家のコメントが掲載されています。

読者は、どのように思うでしょうか？

Yu NAKAHASHI

# こんな解釈をする読者がいるかも？

「最近の子は昔の子より成績が悪いのか。順位をあげるために、スマホ禁止にして、もっと本を読ませることにしよう。」

この解釈は妥当でしょうか？

この考えを発信したらどうなるでしょうか？

**下手をすると、偏見や差別、的外れな対処の実施を生みかねない。**

# 別の見方もできるのではないか

最近の子は勉強できなくなったのか。

⇔他の国の子が特に頑張っただけであって  
日本の子どもに問題があるわけではないかも

スマホを禁止にしよう。

⇔スマホ使っていても読解力の高い人はいるかも

もっと本を読ませよう。

⇔読書してスコアがあがる出題内容ではないかも

このような読み解きができ、かつ、それを踏まえて  
表現・発信できないと争いや人権侵害が生じる

まとめ：安全・安心な利活用の観点から  
どのようなメディア・リテラシーが必要？

情報モラルや真偽を見抜く力とは別の力が必要

- ・ **自分が勝手な解釈をしていないか疑う力**
- ・ **自分が発信したことは、受け手が勝手な解釈をするものだ**として表現する力
- ・ **勝手な解釈をさせやすいものとしてメディアの構造や特性を捉える力**